

◇今号の「とびら」は、北海道支部副支部長の木村-須田廣美先生にご執筆いただきました。昨今は生成 AI が世の中を席卷しており、分析化学においてもデータ解析などに導入されつつあります。使い方によっては大変便利ではありますが、もはや必要不可欠とも言えるかもしれません。一方で、データを前にして頭を悩ませたり、試料調製のために試行錯誤したり…そこに宿る時間こそが、分析化学の基盤であり、楽しさでもあるのではないかと改めて考えさせられました。

◇「リレーエッセイ」では、佐藤宗太先生が「ふたたび人生の転機をむかえて」と題し、これまでの研究領域や所属の変化、そしてこれからの異分野への挑戦につきまして率直に綴っていただきました。分野や立場を越えて歩みを進める姿は、年度の節目を迎える三月にあたって、多くの示唆を与えてくれるように感じます。

◇三月は、終わりの時期であると同時に、新たな挑戦への準備の時期でもあります。この「ぶんせき」誌が、みなさまの新たな挑戦のきっかけとなれば幸いです。

(O.S.)

〈とびら〉

万博の熱気を支部の力に

— 地方から分析化学の芽を育てる — …… 森内 隆代

〈入門講座〉 精密な定量解析を支える網羅分析：基礎技術から実践的応用まで

CE-MS のメタボローム測定への使用事例 …… 平山 明由

〈ミニファイル〉 Abbreviations in 分析化学 (分析化学で使われる略号)

蛍光 …… 加藤 大

〈話 題〉

武力紛争時に生じる環境汚染の計測と除染方法 …… 梅津 茜

〈創案と開発〉

化学者にもできるレシオメトリック蛍光イメージング

…………… 仁子 陽輔

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四宮 一 総 (日 本 大 学)		
〈副委員長〉 稲川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)		
〈理 事〉 山口 央 (茨 城 大 理)		
〈幹 事〉 糟野 潤 (龍谷大先端理工)	久保田 哲 央 (アジレント・テクノロジーズ インターナショナル 株)	橋 本 剛 (上 智 大 理 工)
	原 賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)	
〈委 員〉 石橋 千 英 (愛媛大院理工)	岡 崎 琢 也 (工学院大先進工)	岡 林 識 起 (日大生物資源科学)
	北 牧 祐 子 (産業技術総合研究所)	坂 真 智 子 (株) エ ス コ
	鹿 籠 康 行 (東北大学金属材料研究所)	角 田 誠 (東 大 院 薬)
	原 田 誠 (東京科学大理学院化学)	半 田 友 衣 子 (埼 玉 大 工)
	山 口 浩 輝 (味 の 素 (株))	三 原 義 広 (北海道科学大薬)
	高 橋 豊 (EMISソリューションズ 株)	勝 又 英 之 (三 重 大 院 工)
	上 田 忠 治 (高知大農林海洋科学)	高 橋 幸 奈 (九大カーボンニュートロ ニウム 国 産 研)
		佐 藤 惇 志 (株) ラ イ オ ン
		西 崎 雄 三 (東洋大食環境科学)
		村 山 周 平 (昭和医科大薬)
		大 江 知 行 (東 北 大 院 薬)
		萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2026年 第3号 (通巻615)

2026年 3月 1日印刷

2026年 3月 5日発行

定価 1,250円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304号

公益社団法人 日本分析化学会

電 話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2026, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。